

MOBILITY

NETWORKING

A DREAM OF ARTIFICIAL LIFE

デジタルネイ

ネットワー

人工生命

# 上町台地

UEMACHI DAICHI

# 芸術

ART FORUM

# フォーラム

2022

@OSAKA

THEME

「人の移動とネットワーク」

国際シンポジウム

## 10/11 TUE

会場：四天王寺本坊五智光院

第1部 13:30 - 16:00

「人の移動とネットワークの近未来」

【講演1】 移動と現代アートの試みを探る  
清水知子 (社会学者・東京芸術大学准教授)

【講演2】 移動と人工生命 [Zoom]  
池上高志  
(物理学者・東京大学教授)



池上高志

【ディスカッション】 上記講師、佐久間洋司 (大阪大学) 他

特別公演 16:00 - 16:30

【演目】 《摂州合邦辻》のさわり  
豊竹呂太夫 (文楽太夫)



豊竹呂太夫

第2部 16:30 - 18:40

「アートの実場と人のネットワークによる都市づくり」

ベルリン・ジョグジャカルタ・大阪 (Zoom会議)  
【ディスカッション】 ベルリン・アジアのアート拠点メンバー

デジタルノマド

メタバース

現代美術展

## 10/12-23

WED SUN

THEME

「オルタナティブ・ロマン」

会場：上町台地一帯

阪口楼、旧住友家蔵、浄國寺、あべのハルカス 他

UEMACHI DAICHI ART FORUM  
2022 @OSAKA  
OFFICIAL SITE



国際シンポジウム  
参加申込フォーム  
(入場無料)



主催：上町台地アートプロジェクト実行委員会 共催：四天王寺（一財）大阪地域振興調査会 大阪市立美術館  
後援：(公社)2025年日本国際博覧会協会 大阪市（公財）大阪観光局 大阪商工会議所（一社）関西経済同友会 協力：文化庁地域文化創成本部  
協賛：近鉄グループホールディングス(株) サントリーホールディングス(株) 大阪ガス(株) 近畿日本鉄道(株) (株)近鉄百貨店 近鉄不動産(株)  
(株)近鉄・都ホテルズ 近鉄バス(株) NKT-CTホールディングス(株) (株)近鉄リレーリング 滋慶学園グループ 他  
広報協力：西日本旅客鉄道(株) (株)大阪国際会議場 大阪地下街(株) 他



協力：文化庁 地域文化創成本部



## 国際シンポジウム

EXPO2025を迎える大阪。本事業の会場となる上町台地は、難波津や四天王寺など古代日本史の主舞台として、深い歴史観光の目的地、芸術文化の表現の場として稀有な地です。このフォーラムは、コロナ禍による「移動概念の大転

# 10/11 TUE

会場：四天王寺本坊五智光院

換と新たな共生が進むなか、この地を舞台に科学と歴史、そして現代芸術が共振する場を出現させようとするものです。芸術文化を通して人と人とのつながりを深め、新たな価値の発見と人類の発展・調和を目指して開催します。

### 第1部

THEME

## 「人の移動とネットワーク」

### 第2部

13:30 - 16:00

16:30 - 18:40

「人の移動とネットワークの近未来」



清水知子

【講演1】  
移動と現代アートの試みを探る  
清水知子 (社会学者・東京芸術大学准教授)  
Tomoko Shimizu

東京芸術大学大学院国際芸術創造研究科准教授。愛知県生まれ。専門は文化理論、メディア文化論。筑波大学大学院文芸・言語研究科修了、博士(文学)。著書に「文化と暴力―揺曳するユニオンジャック」(2013)、『ディズニーと動物王国の魔法をとく』(2021)、『芸術と労働』(共著、2018)、共訳にジュディス・パトラ「アセンブリー―行為遂行性・複数性・政治」(2018)、『非暴力の力』(2022)、アントニオ・ネグリ/マイケル・ハート『叛逆―マルチチュードの民主主義宣言』(2013)、ディヴィッド・ライアン『9・11以後の監視(監視社会)と自由』(2004)など。

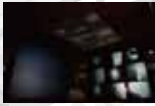
【講演2】(Zoom)  
移動と人工生命  
池上高志 (物理学者・東京大学教授)  
Takashi Ikegami



池上高志

東京大学大学院総合文化研究科教授、メディアアーティスト。1961年長野県生。1989年東京大学大学院理学系研究科で理学博士。神戸大学、オランダ・ヨトレイト大学を経て2008年より現職。複雑系と人工生命をテーマに研究。2016年メディアアパフォー

マンス「Alter」(大阪大学石黒浩教授チームとのコラボレーション)でメディア芸術祭優秀賞。著書に「動きが生命をつくる―生命と意識への構成論的アプローチ」(2007)、『人間と機械のあいだ』(2016 共著など)。



MindTimeMachine

【ディスカッション】  
清水知子、池上高志 (Zoom)、佐久間洋司 他



佐久間洋司

佐久間洋司 (大阪大学)  
Hirosaki Sakuma

大阪大学 グローバルイニシアティブ機構 招へい研究員、2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 ディレクター、ムーンショット型研究開発事業 ミレニアム・プログラム

科学技術による「人類の調和」検討チーム チームリーダー(ほか)、2019年「NewsPicks Magazine」未来をつくる7人の UNDER30」に選出。

### ワークショップ

9/17.18 SAT SUN

フォトめくり俊徳道  
兼子裕代 (写真家)  
Kaneko Hiroyo



兼子裕代

青森県生まれ。カリフォルニア州オークランド在住。ロンドンで写真を学び2005年サンフランシスコ・アート・インスティテュート大学院写真科修士課程修了。2009年サンタフェ写真賞受賞、2020年「アピアランス」(春灯舎)で写真の会賞受賞。UCデイヴィス、デアンザ・カレッジ、サンタ・クララ大学で非常勤講師。

場 所：四天王寺本坊安養殿および俊徳道周辺  
参加費：3,000円  
助成：アーツサポート関西

を巡る芸術文化の未来

【ディスカッション】  
ベルリン・アジアのアート拠点メンバー



Valeria Schulte-Fischedick

《ベルリン・ドイツ》  
ヴァレリア・シュルテ・フィッシュェディック  
Valeria Schulte-Fischedick  
(クンストラーハウス・ベタネン・インターナショナル・スタジオ・プログラム責任者)

1968年生まれ。美術史家、キュレーター、ベルリン在住。Gallery Opdahlのディレクターを経て、現職。主な展覧会プロジェクトは「MANIFEST yourself! (Queer-)Feminist manifestos since the Suffragettes, opens November 2022 at Künstlerhaus Bethanien, Berlin, Swimmingpool - Troubled Waters, Künstlerhaus Bethanien, Berlin, 2021. オンラインFKW-journal Nr.70. 2022年の共同編集者。

《ジョグジャカルタ・インドネシア》  
アリア・スワスティカ  
Alia Swastika



Alia Swastika

(キュレーター、ジョグジャカルタ財団ディレクター)  
ジョグジャカルタ(インドネシア)の財団ディレクターであり、キュレーター、プロジェクト・マネージャー、ライターとして、多くの国際展に参加。様々な雑誌、出版物などインドネシア国内及び国際的なプラットフォームで活躍。2021年の第16回ジョグジャカルタ財団では「赤道シリーズは、国際主義の概念に代わるものを提供する」と宣言。  
※インド、アラビア半島、ナイジェリア、ブラジル、東南アジア、オセアニア

《大阪・日本》  
原 久子 (アートプロデューサー、大阪電気通信大学教授)  
Hisako Hara



原久子

京都市生まれ。「Art & Critique(エーシー)」(発行・京都造形芸術大学、1987~1997)の編集を担当。90年代よりアーティスト・イン・レジデンス、アートのスペースの調査研究、アートプロジェクトの企画・運営、雑誌・新聞等への執筆、編集、コンサルティングなどに携わる。主な共同企画に「六本木クロッシング2004」(森美術館、2004)、「Between Site and Space」(トーキョーワンダーサイト渋谷、2008+ARTSPACE Sydney、2009)、「あいちリエンナーレ2010」(愛知県美術館ほか、2010)ほか。共編著に「変貌する美術館」(昭和堂)など。

### 特別公演 16:00 - 16:30



豊竹呂太夫

【演目】《摂州合邦辻》のさわり(素浄瑠璃)

上町台地にある四天王寺と徳徳丸の道行の物語、日本を代表する中世の説教節「しんとく丸」や能の「弱法師」に題を取ったストーリー。現在も能、歌舞伎、文楽の人気演目

豊竹呂太夫 (文楽太夫)  
Toyotake rodayu

本名、林雄治。昭和22年大阪府岸和田市生まれ。昭和42年に三代竹本春子太夫入門、祖父豊竹若太夫(人間国宝)の幼名三代豊竹英太夫を名乗る。昭和44年、四代竹本越路太夫入門。平成6年国立劇場文楽奨励賞、平成15年第47回JXT賞音楽部門(ENEOS賞)受賞。文楽本公演以外に、「ゴスペル・イン・文楽」の創作、現代詩や落語等他ジャンルとのコラボレーション公演も手がける。平成29年4月、六代豊竹呂太夫を襲名。令和元年大阪市市民表彰受章。令和3年4月から切場語り(きりばがたり)に昇格。



### 現代美術展

【アート作品展示】

現代アート×上町台地

# 10/12-23 WED SUN

会場：上町台地一帯

阪口楼、旧住友家蔵、浄国寺、あべのハルカス 他

THEME 「オルタナティブ・ロマン」

<キュレーター>  
笹原晃平 (アーティスト)  
Kohei Sasahara



1984年東京都出身。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。周辺環境への取材とその場の関係性の構築から出発し、インスタレーション作品を発表するアーティストである。表現メディアに固執せず、様々な方法論で制作を行う一方、一貫して「人間の生活」を探求することにより、美術のみならず人類学や建築学などの総合的な分野への接続を試みている。2007年《Home and Away》により川俣正賞を受賞。2019年《Sunny》がFRAC Grand Large-Hauts-de-Franceのパブリックコレクションとなる。国内外でのプロジェクト多数。

助成：アーツサポート関西



会場マップ